

見えにくさのある児童生徒の学習環境に関する実態調査（I）

京都府立医科大学眼科では、京都府内の小学生を対象に、見えにくさに関する実態調査を実施しております。

本調査の実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

見えにくさのあるお子さんが学習しやすくするためには、例えば拡大鏡(ルーペ)や拡大教科書等を使用するなどの学習配慮が必要なことがあります、見えにくさは周囲から気が付かれにくいため、その実態や数は不明です。

本研究では見えにくさのある児童生徒の頻度を調査します。

研究の方法

・対象となる方について

2022年4月1日から2025年3月31日までの間に、京都府内の小学校に在籍している児童生徒

・研究期間：2022年9月15日から2027年3月31日

・方法

各小学校での学校健診後に、眼科医療機関を受診した後に回収された受診結果連絡票をもとに、矯正視力不良の生徒数を集計します。

・研究に用いる試料・情報について

情報：(見えにくさのあるお子さんの) 学年、視力、弱視通級指導などの支援の有無

・個人情報の取り扱いについて

この研究結果を発表する場合に、個人が特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学 眼科学教室 外園千恵）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・試料・情報の保存について

いただいた情報は原則としてこの研究のために使用し結果を発表したあとは、京都府立医科大学眼科において研究責任者（教授・外園千恵）の下、10 年間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

研究組織

研究責任者

京都府立医科大学 眼科 教授 外園 千恵

研究担当者

京都府立医科大学 眼科 助教	鎌田 さや花
同 視能訓練士	小西 幸代
同 客員講師	池田 陽子
京都府立医科大学 生命基礎数理学 講師	吉井 健悟

お問い合わせ先

情報が当該研究に用いられることについて、児童の保護者の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022 年度データは 2023 年 6 月 30 日まで、2023 年度～2024 年度データは 2025 年 6 月 30 日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも児童に不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学 眼科

助教・鎌田さや花

電話：075-251-5578（眼科医局）：平日 9 時～17 時